

報告者プロフィール

◎須齋 正幸

1961年生まれ。93年3月早稲田大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。同年4月長崎大学経済学部講師。94年同助教授。02年同教授となり、現在に至る。

◎大坪 稔

1971年生まれ。00年3月九州大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。01年4月佐賀大学経済学部専任講師。02年4月佐賀大学経済学部助教授となる。03年2月九州大学にて博士(経済学)取得。現在に至る。

◎白川 優治

1978年生まれ。05年4月早稲田大学大学院教育学研究科教育基礎学専攻(博士後期課程)進学。06年4月より同大学教育・総合科学学術院助手となり、現在に至る。

◎内田 交謹

1970年生まれ。93年3月九州大学経済学部卒業。98年3月九州大学大学院経済学研究科博士課程満期退学。同年4月北九州市立大学経済学部講師。01年4月北九州市立大学経済学部助教授となる。同年5月九州大学にて博士(経済学)取得。現在に至る。

◎阿萬 弘行

1972年生まれ。02年3月 京都大学経済学研究科博士課程修了。同年4月 長崎大学経済学部講師。同年10月 同助教授となり、現在に至る。

◎鈴木 智也

1966年生まれ。02年 Australian National University, PhD Economics 修了。同年 Australian National University, Associate Lecturer。03年 Griffith University, Lecturer。05年4月 龍谷大学経済学部助教授となり、現在に至る。

◎永田 邦和

1972年生まれ。00年一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。同年 一橋大学大学院商学研究科助手。01年 鹿児島大学法文学部助教授となり、現在に至る。

第1回 研究助成論文報告会 (平成17年度・18年度研究分)

日時 平成19年11月21日(水) 15時 開会

会場 メルパルク東京 5階「瑞雲の間」

財団法人 ゆうちよ財団

第 1 回 研究助成論文報告会

報 告 概 要

◆報告会 (瑞雲の間 5 階 15 時 00 分～18 時 00 分)

15 : 00	開会の挨拶 財団法人 ゆうちょ財団 理事 渡 辺 和 司	
15 : 10～15 : 30	須齋 正幸	長崎大学教授 「クレジットカードの普及と決済口座利用動向に関する研究」
15 : 30～15 : 50	大坪 稔	佐賀大学准教授 「日本郵政公社の企業価値推定に関する実証研究」
15 : 50～16 : 10	白川 優治	早稲田大学助手 「郵便貯金資金及び財政投融资と奨学金制度・政策の関係についての研究」
16 : 10～16 : 30	内田 交謹	北九州市立大学准教授 「コーポレート・ガバナンス改革の要因・効果と郵便貯金」
16 : 30～16 : 50	休 憩	
16 : 50～17 : 10	阿萬 弘行	長崎大学准教授 「金融システム安定化とシステムリスク波及の研究」
17 : 10～17 : 30	鈴木 智也	龍谷大学准教授 「郵便貯金銀行の外資への売却によって生じうるマクロ経済構造の変化：ニュージーランドのケース」
17 : 30～17 : 50	永田 邦和	鹿児島大学准教授 「地方における郵便局の配置と経済性」
	終 了	

◎須齋 正幸 「クレジットカードの普及と決済口座利用動向に関する研究」

クレジットカードは消費者の効用をより高いものにするような消費のパターンを選ぶ手段として存在するが、実際に消費者がどのような要因によってクレジットカードを利用するかを理論及び実証的に検証した。

◎大坪 稔 「日本郵政公社の企業価値推定に関する実証研究」

日本郵政公社は郵便事業、貯金事業、保険事業の三事業から構成されているという点から多角化企業である。多角化企業の過小評価問題を考慮しつつ、日本郵政公社における企業価値の推定を行った。

◎白川 優治 「郵便貯金資金及び財政投融资と奨学金制度・政策の関係についての研究」

日本育英会の奨学金事業と国民金融公庫の進学ローン制度の政策過程を検証することを通じて、学資支援制度において郵便貯金資金を財源とする財政投融资が果たしている影響を明らかにした。

◎内田 交謹 「コーポレート・ガバナンス改革の要因・効果と郵便貯金」

日本郵政公社はコーポレート・ガバナンスの強化を実施したが、民営化後は更なる強化が不可避となろう。海外の先行研究をレビューし、メガバンク・グループと比較しながら、日本郵政公社の取締役会（郵政公社は理事会）規模・構成について分析・評価した。また、民営化後についても推察した。

◎阿萬 弘行 「金融システム安定化とシステムリスク波及の研究」

日本の銀行業における増資行動に関するイベントスタディを行い、金融システムの持つシステムリスク波及効果を計量的に分析する。これによって、金融システムの安定性を規定する要因を明らかにする。

◎鈴木 智也 「郵便貯金銀行の外資への売却によって生じうるマクロ経済構造の変化：ニュージーランドのケース」

郵便貯金銀行が外資に買収された場合に起こりうるマクロ経済の構造変化を、外生的ショックの伝播経路という観点から、ニュージーランドのケースを題材に分析する。

◎永田 邦和 「地方における郵便局の配置と経済性」

郵便局の配置と経済性の関係を、民間金融機関との比較から検証し、郵政民営化後の郵便局の統廃合に関するインプリケーションを導出する。

◆意見交換会 (孔雀の間 4 階 18 時 10 分 ～)